



# おおや



6月号 R7.5.30

学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

発行責任者  
校長 田崎 守

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

## 子供たちが追う夢

おおやビオトープに植えてあるホタルブクロの紫色の花が咲き、初夏を感じる季節です。休み時間には子供たちが、池で泳いでいるオタマジャクシやメダカを覗いては、楽しそうに友達と話している場面が見られました。生き物が活発に活動する様子を見てみると、何となくワクワクするのもかもしれません。



ただいま本校では、5月12日から6月6日までの期間に1名の教育実習生が、実習を通して学んでいます。実習生は、本校の卒業生で、将来、小学校の教員になりたいという夢をもっており、様々な学級の授業を見学したり、子供たちと一緒に遊んだり、授業をすすめたりと夢に向かって毎日、一生懸命取り組んでいる姿を見ることができます。夢実現に向けて、頑張っている姿です。

さて、大谷小の子供たちは、将来、どのような夢を持っているのでしょうか。ケーキ・パン屋、警察官、スポーツ選手、レスキュー隊、芸能人・歌手・モデル。これらは、令和6年度の小学生人気上位ランキングの職業(参考:株式会社クラレ調べ)ですが、これらの夢を、中には思い描いている子もいるのではないかと想像します。ところが、私たち大人は、このような子供の夢を聞いたときに、自分の子には難しいかなと思い、大変さを伝えたり、他の職業を紹介したりしがちだということはないでしょうか。

小学生の頃は「進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期」と言われています。身の回りで見かける仕事や環境に対する関心・意欲が向上し、夢や希望となり、憧れる自己のイメージを獲得していくことで、キャリアとして形成されていくと考えられています。そのため、普段から動画が好きで見えたり、スポーツの習い事に通っていたりする子供は、将来の夢となりやすいとも言えます。

そして、「将来の夢について考えること」は、夢をかなえるためにどう成長すればよいかを意識するよい機会となります。夢として思い描いている職業のまわりに、どんな可能性や選択肢があるのかを知り、視野を広げたうえで具体的な目標について考えていくきっかけとなると思います。

本校の教育活動では、これからも、子供たちが夢中になる授業となるように努力し、外部人材の話を聞く、教育環境を整えるなど、子供たちに本物に出会う体験を大切にしていきたいと思っています。そして、子供の夢に触れる時、自分自身の夢への新たな一歩につながると考えています。今後も、本校の学校教育にご理解、ご協力をお願いいたします。

